

令和4年度3月分

教育・文化関係

件 名	桜台保育園駐車場交通指導員について
内 容	<p>先日いつも駐車場で見守ってくださる指導員の方から「今月で私たちはいなくなる」と聞かされ、まさかと驚きました。その後保育園からもその旨の掲示が出され、本当なんだと落胆しました。指導員の方がいらっしゃるので安全の配慮がなされていましたが今後の送り迎えが不安でなりません。私が聞いている限りでは経費節約が理由だとか。安全も経費のために削られるのかと驚いています。他の2箇所の保育園は継続すると聞いています。</p> <p>少子化対策が声高に言われている時代に逆行しているようにも思えますがいかがでしょうか。</p>
回 答	<p>桜台保育園においては、これまで周辺地域の交通障害を緩和することと児童の安全確保を目的として、駐車場の整備業務をシルバー人材センターに委託しておりましたが、職員駐車場の整備により混雑時間が短縮されたことや、園周辺の路上駐車がほとんど見られなくなったことで安全性が確保できたことから委託業務を終了としました。</p> <p>市では、少子化対策や保育の質の向上、障害のある子どもへの細やかな対応や虐待の防止等、これからのニーズに合せた保育施策を展開してまいりますので、今後とも、御理解御協力のほどよろしくお願い致します。</p>

件 名	教育と福祉の連携について
内 容	<p>障害福祉の受給者証を利用している子どもが2人います。</p> <p>子どもの支援者それぞれに漏れの無いように情報共有を行い、顔の見れる関係を築くため、支援者、関係者が参加する関係者会議（個別支援会議）を開催したいと考えておりましたが、関係者同士の情報共有が容易になるシステムが導入されることや、一人に個別の対応をするとほかの児童の対応も必要となり、現場負担が増すことを理由に学校に断られました。</p> <p>今回、市長への手紙でお聞きしたいことは2点です。</p> <p>教育と福祉の連携はシステムを作れば済むということなのでしょうか。</p> <p>現場負担とは教員の負担と考えますが、会議開催に学校や教員に負担を掛けないよう、場所、日時、条件等を提示しましたが、それでも会議への出席が難しいくらい先生方は忙しいのでしょうか。もしくは、提案した会議に対し出席の必要性を感じていないのでしょうか。</p> <p>最後になりますが、文科省から「福祉と教育の連携」についてHPに出ていることを白井市もご存じだと思います。</p> <p>おそらく、そのために連携システムが作られたのではないかと考えており、それは障害児の親としては本当にありがたいことですし、嬉しい限りです。</p> <p>ですが、システムがあるからと言ってお互いが顔を見ない関係を作ってしまうのは、支援を受ける立場としては本当に残念であるとも考えています。</p>
回 答	<p>教育と福祉の連携については、文科省のホームページに記載のありますとおり、日頃から、教育現場等の関係者、関係機関での取組の内容や課題などについて情報共有することで、子どもに対する一貫した支援及び関係者同士の連携の構築に繋がるものと考えています。</p> <p>また、御提案いただきました、学校、家庭、関係機関等との合同会議の開催については、子どもの支援体制づくりに有効的なツール（手段）の1つであると考えますので、学校などと検討してまいります。</p>